

令和2年4月17日
航空局安全企画課

空港の保安検査の高度化等に係る対策をとりまとめました

～保安検査員の人材確保・育成を図るための今後の対策取組とりまとめ～

将来的な航空旅客の大幅な増加の中でも乗客の利便性と保安検査の確実性とを両立させるため、空港における保安検査員について、①労働環境改善、②待遇改善・人材確保、③検査能力・効率性の向上、④旅客への働き掛けを柱とする今後の対策取組をとりまとめました。

- 保安検査は、航空機の乗客乗員の安全を確保する上で不可欠ですが、今後、保安検査の増加が見込まれる中で、的確に実施するためには、先進機器導入や検査手法の高度化に加えて、保安検査に携わる検査員の人材確保・技能向上等を図り、検査品質を確保していく必要があります。
- 一方、保安検査の現場では、
 - ・拘束時間の長さやクレーム対応によるストレスなどの労働環境面、
 - ・時間単価は低くなる面があることや離職率の高さを背景とした深刻な人手不足、
 - ・契約事務の複雑さや教育面での課題、といった点での課題があるところです。
- こうした現状を踏まえ、今後、関係者間で速やかに取組むことが必要なものとして、以下の4つを柱とする「今後の対策取組」をとりまとめました。
【別紙「保安検査員の人材確保・育成を図るための今後の対策取組」参照】

＜4つの柱＞
 - (1) 労働環境改善（例：拘束時間短縮、クレーム対応改善、現場の声の吸い上げ）
 - (2) 待遇改善・人材確保（例：検査委託元と検査会社との契約手続の簡素化）
 - (3) 検査能力・効率性の向上（例：教育の見直し、先進機器の導入）
 - (4) 旅客への働き掛け（例：旅客への機内持込制限品の周知）
- この「今後の対策取組」について、検査会社、空港会社・空港ビル、航空会社、航空局等の関係者が問題意識を共有し、相互の理解と協働により一丸となって推進することにより、航空保安対策に万全を期して参ります。
- なお、今後も、更なる労働環境の改善等、必要な取組みについて検討を継続していくこととしております。

【問い合わせ先】国土交通省 航空局 安全部 安全企画課 航空保安対策室
菅（か）、金丸（かね丸）、（内線 48172、48141）
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8727 FAX 03-3580-5233

現状

労働環境

- ・長時間拘束
- ・クレーム対応
- ・現場の声伝わらない
- ・モチベーション低下
- ・職場環境

人手不足

- ・低賃金
- ・高い離職率
- ・困難な人材確保

業界構造・制度等

- ・複数の保安責任主体
- ・契約事務手続の複雑さ
- ・基準と実態の乖離
- ・教育面の課題 等

今後の対策取組

(1) 労働環境改善

- ・拘束時間短縮
- ・クレーム対応改善
- ・現場の声の吸い上げ
- ・検査員のモチベーション向上
- ・その他検査員の負担軽減

(2) 待遇改善・人材確保

- ・検査委託元と検査会社との契約手続の簡素化
- ・検査会社との契約の仕様書等の見直し
- ・新卒以外の人材の開拓等

(3) 検査能力・効率性の向上

- ・教育の見直し
- ・先進機器の導入

(4) 旅客への働き掛け

- ・旅客への機内持込制限品の周知
- ・機内持込手荷物等に関する対応

短期的対策

保安検査員の
人材確保・育成
のために関係者
が取り組むべき
事項

令和2年4月以降
すみやかに開始
する取組

今回とりまとめ

中長期的対策

引き続き検討を
進める

(1) 労働環境改善

拘束時間短縮

- 長短勤務の活用、宿泊勤務の検討、シフト管理作成の外注化(AI活用)による待機時間削減、待機時間を有効活用した教育時間の設定を取入れる。

クレーム対応改善

- 検査員とは別のクレーム対応要員(航空会社又は検査会社)を配置する。

検査員の業務負担軽減

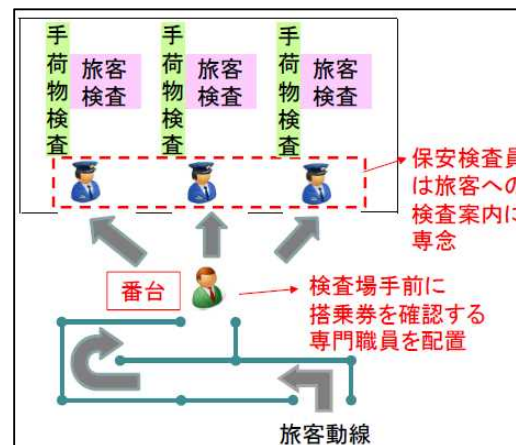
- 保安検査員が実施している「搭乗券等の確認」業務について、航空会社／空港会社の専門職員を配置し、保安検査員が検査に専念できるような環境を整備。
- PRS (Passenger Reconciliation System: 検査場旅客通過確認システム)の導入。

現場の声の吸い上げ

- 航空会社、空港管理者等が保安検査場の巡回を行ったり、アンケートを実施することにより、直接保安検査員の声を吸い上げて関係者間で職場環境等の問題点を共有し、改善に向けた取組みを協力して行う。

検査員のモチベーション向上

- コンテストの開催等、空港会社、航空会社共同で保安検査員に対する表彰を実施。



「搭乗券等の確認」業務の改善例

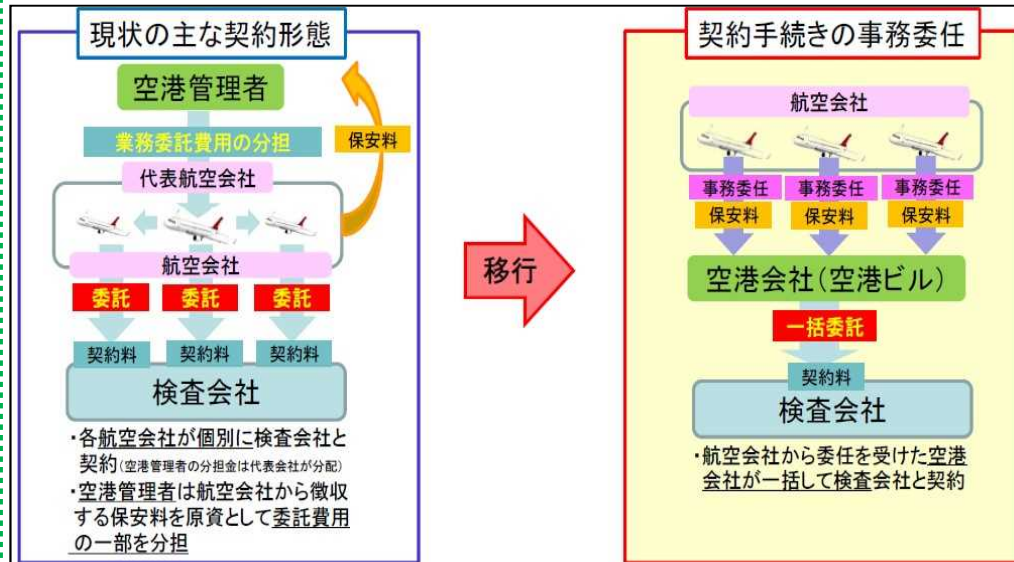


PRSのイメージ

(2) 待遇改善・人材確保

検査委託元と検査会社との契約手続の簡素化

- 空港(空港ビル)が検査会社との契約事務を航空会社から一括受託する契約形態を推進する。(関西等で導入済み。少なくとも主要8空港に導入する方向で検討を進める。他の空港にも拡大を目指す。)



検査会社との契約形態

空港会社(空港ビル)が検査会社と直接契約関係になることで以下のようなメリットがある。

- 検査会社に対する様々な便宜供与・支援が可能。
 - ➔ 検査員休憩室の改修整備等
 - 検査員の安定定期確保・定着にもつながる
- 空港による検査レーンの運用が一元化で可能となり、機動的な意思決定・現場対応が可能。
 - ➔ 効率的なレーン運営、検査場の混雑緩和
- 空港(ビル)内にある複数の検査会社の検査品質等の平準化。
 - ➔ 検査の品質向上
- 検査会社が各航空会社と個別に契約する事務の負担や航空会社からの費用が回収漏れになるリスクの軽減。
 - ➔ 検査会社の経営の安定



検査員休憩室の改善事例

新卒以外の人材の開拓等

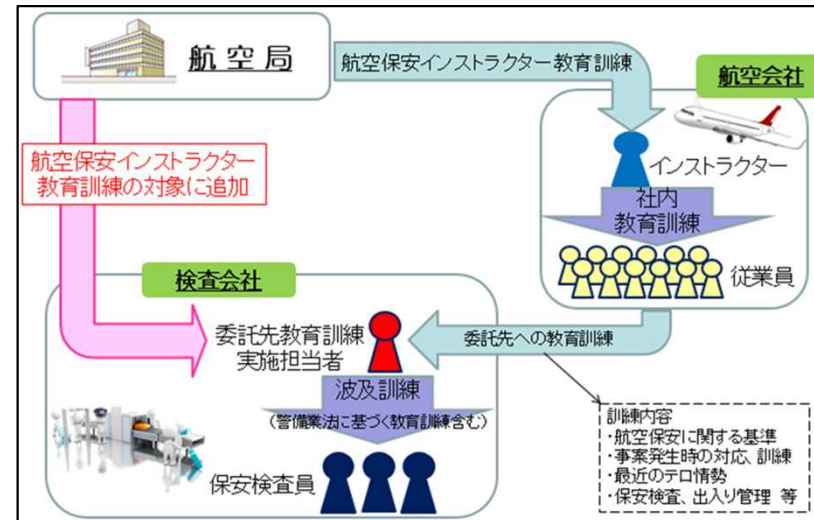
- 主婦、大卒、一時離職者など新たな分野の人材の採用。

(3) 検査能力・効率性の向上

教育の見直し

- 航空保安インストラクター教育訓練の対象に検査会社を追加することで、教育訓練カリキュラムの平準化や、検査員の更なる能力向上や検査レベルの統一化を図る。

※ 航空機の減便により検査業務量が減少している間においては、教育訓練を最大限に実施できるように取組みを強化する。



新たな航空保安インストラクター教育訓練のイメージ

先進的な保安検査機器の導入

- 東京オリ・パラ大会に向けて、主要空港を中心とした高度な保安検査機器の導入を着実に推進するとともに、全国の空港においてもボディスキャナー、高性能X線検査装置等の順次導入。



高度な保安検査機器(例)

(4) 旅客への働き掛け

旅客への周知徹底

- 国土交通省航空局HP、政府広報オンライン等を利用したり、航空局のほか関係機関が協力してポスターを作成し、機内持込制限品や保安検査の位置付けに関する周知を強化。

航空機にお乗りになる皆さまへ

国土交通省からの注意事項

Notice to all airline passengers
from the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

保安検査は皆様に安心して航空機をご利用頂くために行っています
Security screenings are being conducted to ensure that everyone can get on the aircraft with peace of mind.

**検査員の指示に従い
検査を受けて下さい**
Please follow the directions given by the security staff.

国土交通省航空局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

国土交通省

令和元年(2019年)10月30日

保安検査を強化 スムーズに通過するためのコツは？

2019年9月13日から、飛行機に乗るときに保安検査が強化されました。保安検査で、コートやジャケットなどの上着、ブーツなど「くるぶしを覆う」靴などは脱いでX線検査を行います。従来よりも時間がかかりますので、空港には余裕をもってお出かけください。また、国内線では多くの航空会社で、2019年10月27日より、保安検査場の締め切り時刻が出発時刻の20分前に繰り上げられました。そこで、保安検査をスムーズに通過するコツをご紹介します。

【協力政府広報オンライン(暮らしに役立つ情報)】

保安検査を強化しています!

Enhanced security screenings are being conducted!

○保安検査は**国土交通省の指示**にもつき行っていますので**検査員の指示**にしたがって検査を受けて下さい。
検査を受けないと航空機にお乗りになれません。

○凶器等を機内に持ち込んだ場合は、**航空法違反による罰則**(50万円以下の罰金)が適用される場合があります。

Security screenings are being conducted under direction of the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Please follow the directions given by the security staff. You can not get on the aircraft without undergoing a screening. If you bring prohibited items on the aircraft, you may be imposed with a penalty up to 500,000 yen in accordance with the Japanese Civil Aviation Act.

上着検査 Coats/jackets inspection	コート、ジャケット類を脱いでトレイに入れて下さい。 Coats, jackets, etc. must be placed on the tray.	靴検査 靴、ブーツ、スリッパ、サンダル、靴下、靴紐、靴擦れ防止剤、靴の裏、靴の底、ブーツ、くるぶしを覆う靴類 Shoes, boots, slippers, sandals, socks, shoelaces, shoe polish, sole of shoes, bottom of shoes, boots, ankles covering shoes, etc.	靴、ブーツ、スリッパ、サンダル、靴下、靴紐、靴擦れ防止剤、靴の裏、靴の底、ブーツ、くるぶしを覆う靴類 Shoes, boots, slippers, sandals, socks, shoelaces, shoe polish, sole of shoes, bottom of shoes, boots, ankles covering shoes, etc.
所持品検査 Personal belongings inspection	機内持ち込み品はすべて脱いでトレイに入れて下さい。 Please unpack, label and inspect everything you have brought on the flight.	液体物検査 Liquid screening	液体物の検査は、機内持ち込み品と一緒に検査を行います。 Liquid items will be screened together with your carry-on items.

適切な準備をして頂くことで検査が円滑になり、待ち時間の短縮につながります。
お客様のご理解とご協力をお願いします。
Advanced preparation may help you go through security checkpoints more smoothly. Thank you for your cooperation.

国土交通省航空局 警察庁 協力 国内定期航空保安協議会
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism National Police Agency Inland Regular Airline Security Association

【航空局、警察庁、国内定期航空保安協議会 協力】

刃物等の機内への持込は**法律違反**であり50万円以下の罰金の対象となります。

Carrying knives of any kind aboard the plane is prohibited by law, and offenders will be fined up to 500,000 yen.
攜帶刀類等物品登機禁止法律，罰金50万円以下の特罰規定。
도검류의 기내반입은 법으로 금지되어 있습니다. 위반시에는 50만원 이하의 벌금대상이 됩니다.

上記の物は、手荷電力カウンターにてお預け頂くか、放棄品箱への廃棄をお願いします。
Please deposit the above items at the baggage counter or dispose of them in a disposal box.
機内以上の物品は手荷電力カウンターで預けたり、放棄品箱に廃棄する必要があります。
위의 물품은 항공사 카운터로 가져서 위탁하시거나 폐기해주시기 바랍니다.

国土交通省航空局 警察庁 定期航空協会
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism National Police Agency The Scheduled Airline Association of JAPAN

【航空局、警察庁、定期航空協会 協力】